

図書館へ行こう!

～新入生のための五つの知っ得情報～

附属図書館

「図書館」と聞くと、静かでちょっと入りづらいイメージがあるかもしれませんね。大学生になれば、文献を探したりレポートを書く機会も増えるはず。そんな時役に立つのが図書館です。図書館は本を借りるだけの場所ではありません。あなた次第で色々な使い方ができる場所です。さあ、図書館へ行こう。

その1・探す

情報はインターネットで探せばいいと思いませんか？ 氾濫する情報の中から効率よく信頼性の高い情報を探すためには、OPAC(オーパック;蔵書目録)などの専用ツールがおすすめ。OPACは図書館の専用端末からだけでなく、インターネットが使えるPCからでも検索できます。さらには、電子ジャーナル・データベースを利用すれば世界の情報はあなたのものに。使い方などちょっとしたコツはガイドランスで。

また、書庫にも自由に入れるので、直接手に取って探してみることもできます。

その2・借りる

貸出は、新着雑誌や一部の辞書などを除いて、一度に5冊まで、2週間。自動貸出装置でセルフ貸出もできます。音楽CDも借りられます。

その3・取り寄せる

探しているものがないときは、近隣図書館の所蔵を調べたり、他分館や他大学から取り寄せることもできます。

その4・ちょっと一息

カウンターで申し込めば、DVDやCDを視聴できます。授業が空いたときなど、新聞や雑誌を眺めてリフレッシュ。

その5・メディアプラザ(コーナー)

情報収集やレポート作成のために、PCやプリンタを準備しています。

番外・できないこと

飲食・喫煙・おしゃべり・携帯通話

☆中央館を中心に紹介しました。詳しい利用方法は、「ガイドランス(新入生向け)」「利用のしおり」「図書館ホームページ」で。